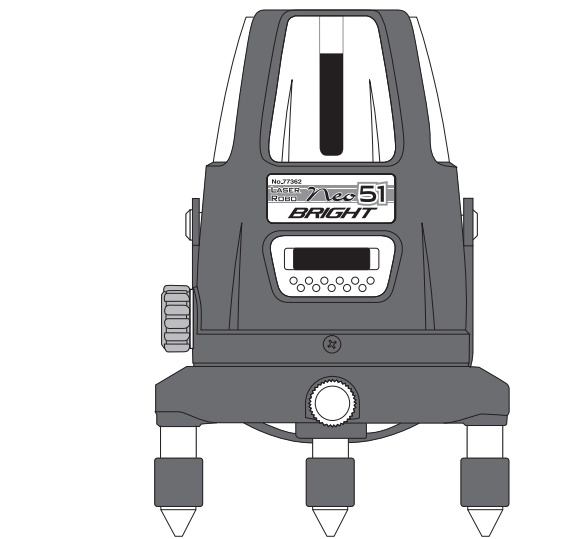




取扱説明書

レーザーロボ ネオ ブライト
(品番：77362/77361/77360/77355/77354/77389/77388)



この取扱説明書は必ず保管してください。

■アフターサービス

故障かな？と思ったら…
修理をご依頼される前に、下記を参考に確認してください。
下記の方法でも解決できない場合は「保証規定（無償修理および盗難・火災補償）」
をご確認の上、シンワサービスセンター宛にご連絡ください。

トラブル状況	確認事項
レーザー光が出ない	●電池はあるか？ →新しい電池を入れてください ●電池の入れ方は正しいか？ →＋－を間違えていないかを確認してください
衝撃を与えてしまった	■使用前の点検（精度確認）を行ってください

末永くご利用いただくために

シンワ「レーザーロボ グリーン Neo BRIGHT」は精密機器です。
精度維持および末永くご使用いただくために、シンワサービスセンター宛
に年1回の定期点検（有料）をご依頼くださることをおすすめします。

Shinwa Service System 【シンワサービスシステム】

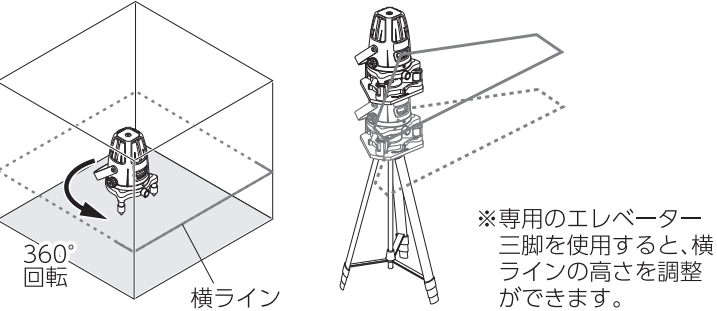
修理や検査はシンワサービスセンター（TELまたはFAX）にご依頼ください。
ヤマト運輸が引き取りに伺います。



※レーザー・光学機器の部品保有期間は廃番後3年間となります。それ以降は在庫がなくなり次第、もしくは
廃番後5年経過したものから提供終了とさせていただきますのでご了承ください。

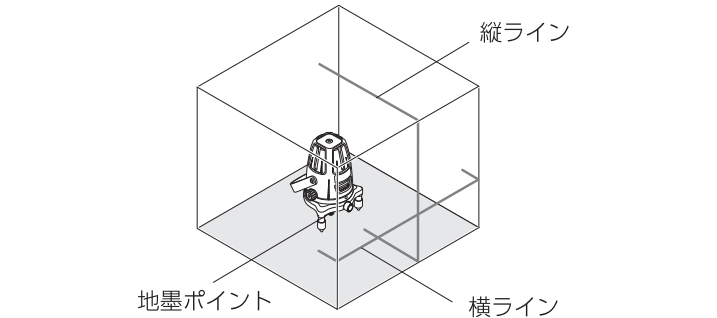
① モードの使用方法

- ① 本体を墨出しする場所の床上に置き、水平出しを行います。
- ② 電源スイッチをONにすると ① モードになり、横ラインが照射されます。
- ③ 本体回転機構を利用することで、全周（360°）の水平が出せます。



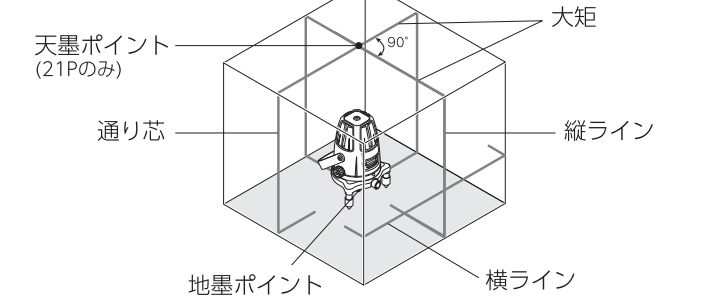
② モードの使用方法

- ① 本体を墨出しする場所の床上に置き、水平出しを行います。
- ② 電源スイッチをONにして上面パネルの ② を押すと、正面縦ライン・横ライン・地墨ポイントが照射されます。



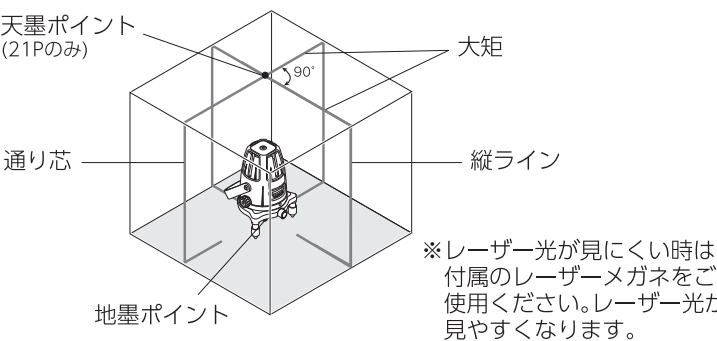
② フル照射モードの使用方法（51、41、31、21Pのみ）

- ① 本体を墨出しする場所の床上に置き、水平出しを行います。
- ② 電源スイッチをONにして上面パネルの ② を1秒以上長押しすると、全ての縦ライン・横ライン・地墨ポイント・天墨ポイント（21Pのみ）が照射されます。



③ モードの使用方法（図は51の場合）

- ① 本体を墨出しする場所の床上に置き、水平出しを行います。
- ② 電源スイッチをONにして上面パネルの ③ を押すと、全ての縦ライン・地墨ポイント・天墨ポイント（21Pのみ）が照射されます。



はじめに

シンワ「レーザーロボ Neo BRIGHT」シリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品をお使いいただく前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後も大切に保管してください。
製品梱包に貼付されている「保証規定（無償修理および盗難・火災補償）」をよくお読みの上、「保証書・ユーザー登録シート」にお買い上げ店名の記入があることを確認し、必要事項を記入して、シンワサービスセンターへFAXまたはコピーを郵送してください。
「保証規定（無償修理および盗難・火災保証）」と「保証書・ユーザー登録シート（お客様（控））」は大切に保管してください。
ご不明な点がございましたら、シンワサービスセンターまでお問い合わせください。

■特長

- 縦ライン・横ライン・地墨ポイントをレーザー光で照射します。
- レーザー光の明るさは従来品のおよそ2倍です。（当社比）
- 防塵・防水構造（保護等級IP54）のため、粉塵や水の飛沫による故障の心配がありません。
- 付属の水平調整三脚アダプターを使用することで、三脚への取り付けが簡単にでき、三脚に取り付けた状態でも本体の水平出しが可能になります。
- 2.5°以内の傾きなら自動補正されます。
- 専用の受光器を使用することで、屋外などのレーザーラインが見えにくい場所での使用も可能になります。
- 過剰な明るさのレーザー発光を抑える保護回路搭載で安心です。

■使用方法

- ① 電池フタ止ネジを緩めて電池フタを開け、単3アルカリ乾電池を4本、正しく入れてください。電池フタ止ネジはしっかり締めてください。
- ② 円型気泡管の気泡が赤い円内に入るように、水平調整脚で調整し、本体の水平出しを行ってください。
※気泡全体が赤い円内に入れば、円の中心でなくても自動補正機構が働きます。自動補正範囲外では1秒間隔でレーザー光が点滅します。
- ③ 電源スイッチを回してONにしてください。自動補正機構のロックが解除され、正面横ラインが照射されます。（円型気泡管のLED照明が点灯します。）
- ④ 上面パネルで、使用するレーザー照射モードを選択してください。

△ 注 意

保管・運搬時のご注意

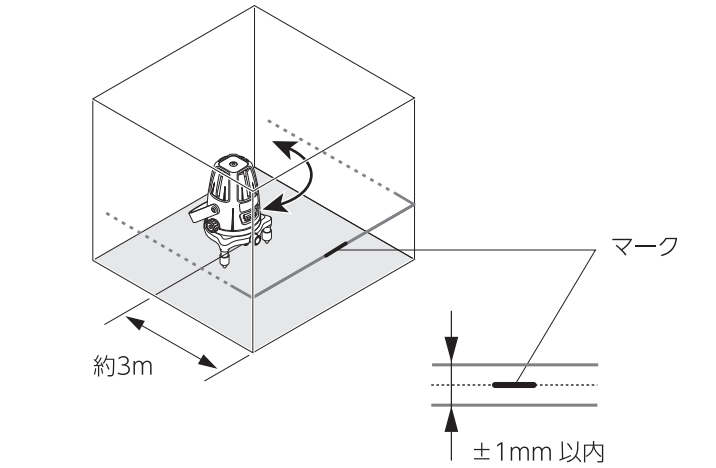
- 絶対に分解しないでください。故障・感電の原因となります。
- 本製品を持ち運ぶ時やご使用後は、必ず電源スイッチをOFFにしてください。OFFにすることで自動補正機構が同時にロックされます。
- 使用後は水平調整脚をいっぱいまで締め込んでください。緩めたまま持ち運ぶと、脱落や紛失の恐れがあります。
- 落としたり衝撃を与えたりしないでください。また、使用後は必ず収納ケースに入れてください。
- 分解・改造をしないでください。性能や寿命を劣化させる原因にもなり、保証できなくなります。
- 長時間ご使用にならない場合は電池を取り外してください。

使用上のご注意

- 本製品は防塵・防水構造になっていますが、レーザー照射口に水滴・ホコリなどの付着、または結露があるとレーザーラインを正確に照射できなくなったり、受光器が正確に反応しない場合があります。柔らかい布などでキレイに拭き取り、本体を室温に馴染ませてからご使用ください。
- 電源スイッチはON/OFFまで確実に回してください。
- 直射日光のあたる場所や高温となる場所での長時間の使用は、レーザーの消費電力が過大となり、性能や寿命を著しく劣化させ、故障の原因となりますので使用しないでください。
- 受光器は受光距離範囲外または、レーザー墨出し器の電池が消耗していると誤作動を起こす可能性があります。
- 受光器の受光窓が汚れていると誤作動を起こす可能性があります。柔らかい布などでキレイに拭き取ってからご使用ください。

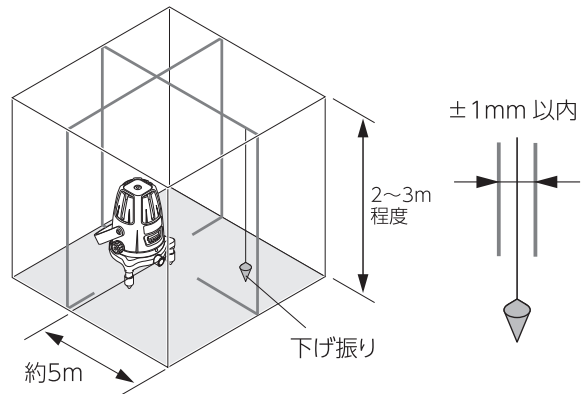
■使用前の点検（精度確認）

- 横ライン（ろく）の点検
- ① 振動のない、できるだけ平らな場所を選びます。
- ② 本体を壁面から約3mの所に置き、水平出しを行います。
- ③ 電源スイッチをONにすると ① モードの横ラインが照射されます。
- ④ 壁面に向けて照射し、横ラインの中心付近に合わせてマークを付けます。
- ⑤ 本体を回して、横ラインの高さとマークの位置にズレがないかを確認します。
- ⑥ ズレが±1mm以内であれば許容範囲内です。
※許容範囲を超えている場合は調整・修理が必要ですので、シンワサービスセンター宛にご依頼ください。



- ①天井が2～3m程度の高さで振動のない、できるだけ平らな場所を選びます。
- ②本体を壁面から約5mの所に置き、水平出しを行います。
- ③お手持ちの下げ振りを壁面近く天井から吊り下げます。
- ④電源スイッチをONにし、上面パネルの**③**を押し、**③**モードの縦ラインを全て照射するパターンに設定します。
- ⑤縦ラインを壁面に向けて照射し、下げ振りの糸に合わせます。
- ⑥下げ振りの糸と縦ラインにズレがないかを確認します。
- ⑦ズレが±1mm以内であれば許容範囲内です。他の縦ラインについても同様の点検を行います。

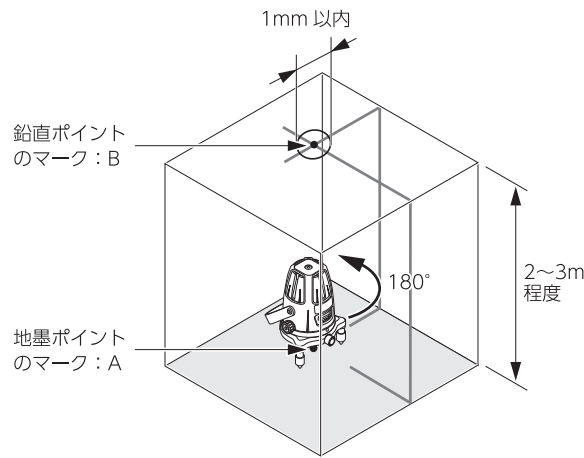
※許容範囲を超えている場合は調整・修理が必要です、
シンワサービスセンター宛にご依頼ください。



● **上下鉛直の点検 (51、41、31、21P、11Pのみ)**

- ① 天井が2～3m程度の高さで振動のない、できるだけ平らな場所を選びます。
- ② 本体を床の上に置き、水平出しを行います。
- ③ 電源スイッチをONにし、上面パネルの**㊟**を押し、**㊟**モードの大矩を照射するパターン(21P、11Pは天墨ポイントを照射するパターン)に設定します。
- ④ 地墨ポイントAと鉛直ポイントB(上部大矩のクロスした点、21P、11Pは縦ラインと天墨ポイントが重なった点)にマークを付けます。
- ⑤ 本体を180°回転して地墨ポイントをマークAの位置に合わせます。
- ⑥ 回転後の鉛直ポイントとマークBとのズレが1mm以内であれば許容範囲内です。

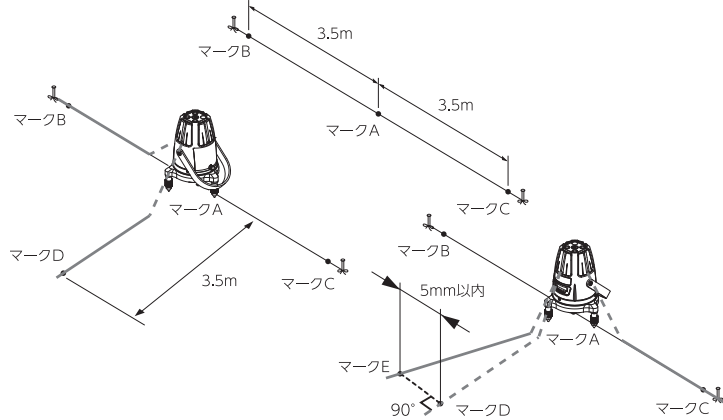
※ 許容範囲を超えている場合は調整・修理が必要です。
シンワサービスセンター宛にご依頼ください。



●大炬の点検(51、41、31のみ)

- ①できるだけ平らな場所で約8mの水糸を床に張ります。
- ②水糸の中心をマークAとし、マークAから両端に約3.5mの2箇所をマークB、マークCとします。
- ③本体を床上に置き、水平出しを行います。
- ④電源スイッチをONにし、上面パネルの **③** を押し、**③** モードの大炬を照射するパターンに設定します。
- ⑤地墨ポイントとマークA、正面縦ラインとマークBが重なるように設置します。
- ⑥左側縦ラインの3.5mの位置をマークDとします。
- ⑦本体を回転させて、左側縦ラインがマークCに重なるように設置します。
- ⑧正面縦ラインの3.5mの位置をマークEとし、マークDとマークEのズレが5mm以内であれば許容範囲内です。
- ⑨他の大炬についても同様の点検を行います。

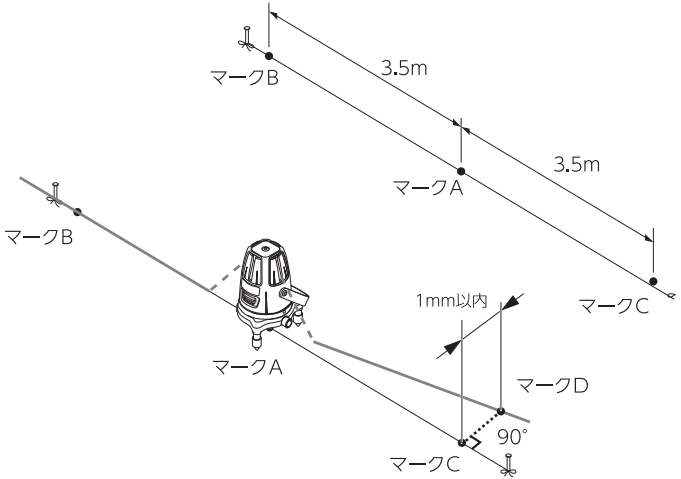
※許容範囲を超えている場合は調整・修理が必要ですので、シンワサービスセンター宛にご依頼ください。



●**●** 通気芯の点検 (51、41のみ)

- ① できるだけ平らな場所で約8mの水糸を床に張ります。
- ② 水糸の中心をマークAとし、マークAから両端に約3.5mの2箇所をマークB、マークCとします。
- ③ 本体を床の上に置き、水平出しを行います。
- ④ 電源スイッチをONにし、上面パネルの **③** を押し、**③** モードの通気芯を照射するパターンに設定します。
- ⑤ 地墨ポイントとマークA、縦ラインとマークBが重なるように設置します。
- ⑥ マークC側に照射されている縦ラインの位置 (下図に示す位置) をマークDとし、マークCとマークDとのズレが1mm以内であれば許容範囲内です。
- ⑦ 他の通気芯についても同様の点検を行います。

※許容範囲を超えている場合は調整・修理が必要ですので、シンワサービスセンター宛にご依頼ください。



■各部の名称

円型気泡管
電源ONでLED照明が点灯します

上面パネル
各種モードを切り替えます

取手
持ち運びに便利です

電源スイッチ
ONでレーザー照射
OFFでロック機構

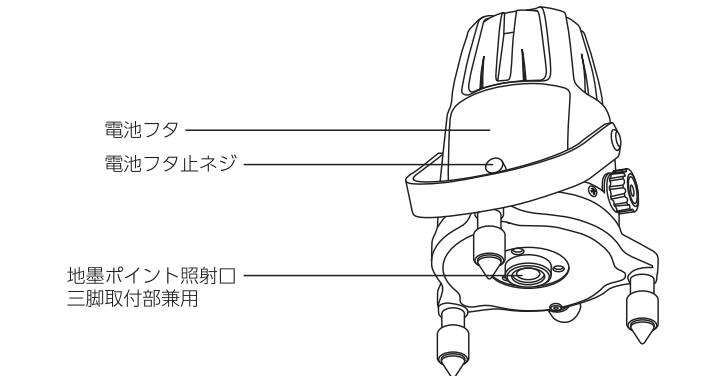
水平調整脚

回転微調整ソマミ
本体を360°回転させます

Neo 21P.11P BRIGHT

円型気泡管
電源ONでLED照明が点灯します

上面パネル
(21Pのみ)
各種モードを切り替えます



The diagram illustrates the measurement method for the vehicle's width and height. On the left, a side view of the vehicle shows the '縦ライン照射口 (4ヶ所)' (Vertical line irradiation port (4 locations)) and the '横ライン照射口' (Horizontal line irradiation port). On the right, a 3D perspective view shows the vehicle inside a measurement box. The box is defined by '縦ライン' (Vertical line) and '横ライン' (Horizontal line) irradiation. The '大矩' (Large rectangle) is formed by the vertical lines, and the '小矩' (Small rectangle) is formed by the horizontal lines. The '地墨ポイント' (Ground point) is marked on the floor. The '通り芯' (Through center) is marked on the vehicle. The angle between the vertical and horizontal lines is indicated as 90°.



- ① モード
→横ライン
- ② モード
→正面縦ライン+横ライン+地墨
- ② フル照射モード（スイッチ長押し）
→縦ライン×4本+横ライン+地墨
- ③ モード
→縦ライン×4本+地墨



- ① モード
→横ライン
- ② モード
→正面縦ライン+横ライン+地墨
- ② フル照射モード (スイッチ長押し)
→縦ライン×3本+横ライン+地墨
- ③ モード
→縦ライン×3本+地墨



- ① モードⅠ
→横ライン
- ② モードⅡ
→正面縦ライン+横ライン+地墨
- ② フル照射モード（スイッチ長押し）
→縦ライン×2本+横ライン+地墨
- ③ モードⅢ
→縦ライン×2本(大炬)+地墨

-16-

